

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	みかづき清田		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 20日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との情報共有や相談しやすい関係が構築できている	連絡帳、送迎時の口頭でのやり取り、メール、定期面談など複数の手段を用いて、児童の様子や課題について保護者と情報共有を行っている。また、保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。	面談や日々の連絡に加え、活動の様子や支援内容についての情報発信をさらに充実させ、保護者が児童の成長や取り組みをより理解できるよう努めていく。
2	児童が楽しみながら参加できる多様な活動プログラムを実施している	ゲーム活動、調理体験、外出活動、季節行事などを取り入れ、児童が楽しみながら生活スキルや社会性を身につけられるよう活動内容を工夫している。また、活動がマンネリ化しないよう内容の見直しを行っている。	児童の興味関心や発達段階に応じた活動内容の検討を継続するとともに、ICTの活用や新しい体験活動なども取り入れ、より充実したプログラムを提供していく。
3	個別支援計画に基づいた支援を丁寧に実施している	保護者との面談や情報交換を通して児童の状況を把握し、実態や課題を踏まえた個別支援計画を作成している。また、専門用語をできるだけ使わず、分かりやすい説明を心掛けている。	児童の成長や状況の変化に応じて計画の見直しを行うとともに、専門職の視点を活かした評価や支援方法を取り入れ、より質の高い支援の提供を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	安全管理や安全確保の取り組みに関する保護者への周知が十分ではない	安全確保に関する計画や事故対応の体制については職員間で共有されているものの、保護者に対して説明する機会や情報提供が十分ではなかったため。	安全確保に関する計画や事故発生時の対応について、面談や資料配布などを通して保護者に分かりやすく説明し、安心して利用できる環境づくりに努める。
2	事業所の取り組みや活動内容が十分に伝わっていない場合がある	ブログやSNS等で情報発信を行っているが、すべての保護者が閲覧しているわけではなく、情報が十分に届いていない可能性がある。	ブログやSNSの活用を継続するとともに、連絡帳やメール、面談時の説明など複数の方法を用いて活動内容や支援の意図を伝えていく。
3	専門的支援に関する内容が保護者に分かりにくい場合がある	専門職による評価や支援内容が、保護者にとって具体的にイメージしにくい場合があるため。	面談時や個別支援計画の説明の際に、専門的支援の目的や方法について具体例を交えながら説明し、保護者との共通理解を深めていく。